

周産期医療協議会・専門部会
平成30年度事業実施結果及び令和元年度事業計画

1 平成30年度実施結果

(1) 専門部会の開催

○開催回数 2回（平成30年12月17日（月）、平成31年1月31日（木））

○内 容 平成29年乳児死亡例10例について検証

○参加者 専門部会員

○結果の主な概要

乳児死亡数、新生児死亡数ともに減少。乳児死亡全体では、従来同様に先天異常が主要な要因であった。

○結果のまとめから今後取組む必要がある対策について（抜粋）

- ・妊娠前からのヘルスケア（プレコンセプションヘルスケア）の概念を一般及び医療者へ周知を図る
- ・突然の心肺停止状態で受診した症例に対しては、徳島県で作成したマニュアルに即してできるだけ原因究明を行う。
- ・司法解剖を行う法医学教室（や警察）と情報共有等行う。 など

2 令和元年度事業計画

(1) 専門部会の開催

○開催回数 年2回程度

○内 容 ・死亡症例検討の実施
・法医学教室（や警察）との情報共有

(2) 妊娠前からのヘルスケア（プレコンセプションヘルスケア）についての周知啓発

○徳島県産婦人科医会と連携した啓発
啓発用チラシの作成・配布

※若者世代ライフプラン事業等を活用した周知啓発（健康づくり課所管事業での啓発）

- ・大学生を対象にした講演会での啓発
- ・各保健所等で実施している事業等（県内高校・大学等での文化祭での啓発）を活用した啓発